

連続セミナー 出自を知る権利を考える 第2回 ビクトリア州のドナー情報開示をめぐる 制度の変遷とそれに関する議論

講師：ルイーズ ジョンソン (Louise Johnson)

オーストラリア ビクトリア州の生殖補助治療局 (VARTA) の前 CEO。

開催日時：2024年3月14日 午後5時～6時半

場所：オンライン開催 参加無料

英日同時通訳付き (English with an interpreter)

お申込み：以下のリンクから無料チケットをお申し込みください。

開催前日までに ZOOM リンクをメールにお送りします。

<https://shutsujiseminar2.peatix.com>



お問合せ：柘植あづみ (明治学院大学教授) tsuge@soc.meijigakuin.ac.jp

※ このセミナーは JSPS 科研費 23K11691 の助成を受けて開催します。

ビクトリア州では、1980年代から体外受精などの不妊治療に関する法律を設け、その中で徐々に提供配偶子によって生まれた子どもが配偶子の提供者（ドナー）について知る権利が認められてきた。まず、1984年の法律では、提供者が了承した場合に1988年以降に生まれた子は18歳になれば提供者を特定できない情報を知ることができるようになり、1995年の法律では1998年以降に生まれた子は提供者の同意がなくとも18歳以上になれば提供者を特定できる情報を知ることができるようになった。さらに2008年の法律では生まれた子どもの利益を最大に尊重し、2010年から子どもの年齢にはかかわらず（条件はある）ドナー情報へのアクセスが認められ、出生証明書に提供配偶子で生まれたことがわかる記載がなされることになった。さらに、シングルやレズビアン女性が提供精子によって子どもをもつことができるようになり、その情報が登録され、生まれた子どもが将来、提供者を知ることができるようになった。そして、2017年からは配偶子提供者の匿名性が廃止された。VARTAは法の変遷とともに、情報登録・管理、親になる人、提供する人、生まれた人へのカウンセリングなどの制度も整えてきた。このセミナーでは、講師のルイーズ ジョンソンさんに、ビクトリア州における生殖補助医療の提供配偶子等で生まれた方の出自を知る権利に関する制度の変遷とそれにかかわる議論についてお話しいただきます。



Louise Johnson

ルイーズ・ジョンソンさんは2021年2月までの16年間、ビクトリア生殖補助治療局のCEOを務めた。その職務の一環として、提供配偶子・胚による出産に関する情報登録、情報提供やカウンセリングなどの関連サービスを管理してきた。また、州内の生殖補助技術に関する産業の規制と公共教育における理解促進の役割を担ってきた。現在、オーストラリアの健康医学研究審議会（National Health and Medical Research Council）の胚研究許可委員会（Embryo Research Licensing Committee）委員、ビクトリア州政府のPatient Review Panelメンバー、オーストラリア医師会ビクトリア州委員会委員、ウィメンズ・ヘルス・ビクトリアの会長兼理事でもある。

Seminar: Considering the right to know the origins of Donor Conceived Person (DCP)

[The evolution of Victoria's system of donor disclosure](#)

March 14, 2024 5:00 to 6:30 pm in Japan (GST)

7:00 to 8:30 pm in Victoria (UTC+11)

Speaker: Louise Johnson

Louise was CEO for the Victorian Assisted Reproductive Treatment Authority for 16 years, to February 2021. As part of that role, Louise managed the donor conception registers and associated services, was involved with regulation of the IVF industry and the delivery of public education initiatives. Louise is a current Member of the Embryo Research Licensing Committee with the National Health and Medical Research Council; Community Member on the Australasian College for Emergency Medicine's Council of Advocacy, Practice and Partnerships; and Panel Member on the Victorian Government's Patient Review Panel. Louise is a previous Member of the Victorian Board of the Medical Board of Australia as well as the Occupational Therapy Board of Australia; and Chair and Board Member of Women's Health Victoria.